

## 13

## 豊かで利便性に優れた暮らしづくり推進プロジェクト

## 概要

地域社会のデジタル化を進めることにより、県民一人ひとりが、希望するサービスやライフスタイルを自由に選択でき、暮らしの豊かさや地域の活力を実感できる取組を推進する

また、都市公園の新たな利活用、生活交通の維持や充実、空き家対策、利便性・安全性の高い道路網の整備等により、快適で住みやすい環境づくりの取組を進める

重点  
施策

44 豊かさと幸せを実感できるデジタル社会の実現

45 快適で住みやすい生活環境づくりの推進

## (1) 成果指標の状況

| 成果<br>指標 | 進捗状況         | 指標数 | 主な指標               |
|----------|--------------|-----|--------------------|
|          | ★★★★★(目標を達成) | 2   | Y-BASEにおける課題解決件数 等 |
|          | ★★★★(計画を上回る) | 5   | オンライン利用率(県関係手続) 等  |
|          | ★★★(ほぼ計画どおり) | 1   | 光ファイバの世帯カバー率       |
|          | ★★(計画を下回る)   | 1   | 国道・県道の整備完了延長       |
|          | ★(計画から大幅に遅れ) |     |                    |

## (2) 県民実感に係る調査結果

| 調査区分           | 調査項目                                                 | そう思う | どちらでもない | そう思わない |
|----------------|------------------------------------------------------|------|---------|--------|
| 県民実感度調査<br>(%) | 暮らしを支える生活道路の整備や都市公園の利活用など、快適な生活環境づくりの取組が進んでいると思いますか。 | 32.9 | 40.7    | 24.6   |
|                | 行政手続のオンライン化など、デジタルによって社会や暮らしを便利にするための取組が進んでいると思いますか。 | 33.8 | 44.3    | 20.1   |

## (3) 主な取組と成果

## ◆豊かさと幸せを実感できるデジタル社会の実現

- **やまぐちDX推進拠点「Y-BASE」**で、生成AIを活用した社内の研究知見を活かす仕組みづくりや作業手順書作成による作業標準化・ノウハウ継承等の支援を実施し、131件の課題を解決した。また、AIの利活用による業務変革や新事業創出の推進に向け、生成AIアカウント貸出による実証環境の提供やコンサルティングによるハンズオン支援など、**Y-BASE**において**生成AIの利活用支援を強化**。
- 官民連携の**デジタルコミュニティ「デジテック for YAMAGUCHI」**における共創活動を通じた課題解決の取組を促進。  
(事例) 地域資源継承・魅力発信プロジェクト、こども食堂運営効率化プロジェクト 等
- AIやデザイン思考など **DX創出に必要な技術・スキルを習得する実践的研修**を実施し、行政・企業等の内部でDXを推進することができる人材の育成・確保を推進(デジタル技術を活用できるリーダー人材の育成人数80人)。
- 「**山口県デジタル実装推進基金**」を活用して、県有施設へのキャッシュレス決済導入や消防救急隊のスキル向上、災害時の物資輸送体制の構築など、県民の生活実感の向上等に繋がる**デジタル実装の取組を集中的に実施**。
- 先進的なデジタル技術の活用による**利便性の高い魅力ある地域づくり**を目指して、自動運転EVバスの社会実装に向けた実証運行を実施。
- 教育DX推進に向け、**県立学校24校がYSN経由でSINETに接続した**ことにより、**ネットワークの高速化や、学びの充実や質の高い授業づくり**を実現。

主な  
取組  
と  
成果

- 県民ニーズの高い運転免許証の即日交付施設で県下4施設目となる「**周南運転免許センター**」を開設したほか、5施設目の「**萩運転免許センター**」の運用開始に向け、施設の改修や機器類の整備、免許窓口の合理化などを推進。
- 「**出張型運転免許手続**」を岩国市広瀬地域、周南市鹿野地域、山口市阿東地域、萩市江崎地域においてそれぞれ月1回実施。  
免許更新手続きや自主返納など延べ395人が利用（R7年度）
- 「**マイナンバーカードと運転免許証の一体化**」をはじめ、インターネットによる**免許更新手続の予約制導入**など、**運転免許手続きのデジタル化**を推進。

#### ◆ 快適で住みやすい生活環境づくりの推進

- 暮らしやすいまちづくりを支援する道路環境の整備。
  - ・各都市間の広域的な交流・連携に資する道路や、日常生活の利便性・安全性の向上に資する道路等の整備を推進  
国道・県道の整備完了延長：33km（R4～R7年度）→目標：50km（R4～R8年度）
  - ・通学路等の生活空間における歩道整備や交差点の改良などの交通安全対策を着実に推進  
通学路合同点検に基づく交通安全対策完了率 97%（R7年度）→目標：100%（R4～R8年度）
- 交通空白地における持続的な移動手段の確保に向けて、**AIデマンド交通など、デジタル技術を活用した新たなモビリティサービスの導入**を目指す7市を支援。
- 公共交通の利便性向上を図るため、路線バスへの**交通系ICカード等のキャッシュレス決済の導入**を促進。  
県内の全ての路線バス事業者でキャッシュレス決済導入済（令和7年度末）
- **県内ローカル線の活性化**や鉄道利用の機運醸成に向け、市町、JR西日本、国及び県の関係者による連絡会議を開催し、ローカル線の現状や利用促進に向けた取組の状況など様々な情報共有や意見交換等を実施。
- 安全な道路交通環境を確保する交通安全施設の整備促進。  
LED式信号機の整備率 89.9%（R6年度）→92.7%（R7年度）

## (4) 総評

総  
評

- Y-BASEを核としたDXの推進やDX推進に必要なリーダー的人材の育成などを通じて、様々な主体のデジタルを活用した課題解決の取組が進むとともに、「山口県デジタル実装推進基金」を活用したデジタル実装に向けた取組が着実に推進されているが、社会や暮らしが変わったと県民が真に実感できるよう、取組のさらなる促進が求められている。

## (5) 課題と今後の展開方向

課  
題  
と  
今  
後  
の  
展  
開  
方  
向

### ◆ 豊かさと幸せを実感できるデジタル社会の実現

- 多くの県民の皆様が、デジタルによって社会や暮らしが変わったと真に実感できるよう、「山口県デジタル実装推進基金」を活用したデジタル実装の取組の更なる推進を図るとともに、自動運転技術など先進技術の導入や、デジタル技術を活用した生活関連サービスの充実など、人口減少に伴う地域の社会課題の解決に向けた取組をさらに進め、その成果を県内に広げていく必要がある。
- 運転免許証の即日交付施設をはじめとする免許窓口が、実態に即したより利用しやすい施設となるよう、運用の見直しや窓口の合理化、生成AIの活用により業務を効率化し、マイナンバーカードと運転免許証の一体化業務や中山間地域における「出張型運転免許手続」など、県民ニーズに柔軟に対応可能な体制を構築する必要がある。

#### ◆快適で住みやすい生活環境づくりの推進

- 道路に対する満足度については、県民実感度調査において一定の評価を得ているが、依然として、国道・県道等におけるすれ違いが困難な狭い道路の拡幅や渋滞対策、自転車の通行環境の整備などを求める意見が多いことから、引き続き、快適な生活環境の充実を図るため、利便性・安全性の高い道路網を整備する必要がある。
- 歩行者や自転車利用者等を交通事故から守る対策の促進や、バリアフリー化が必要である。
- 県民が住み慣れた地域で、便利に、快適に、そして安心して暮らし続けることができるよう、これまで以上に県が主体的に関わりながら、市町や交通事業者等と連携して、運転士確保や交通 DX の推進など、総合的な交通政策を積極的に進める必要がある。
- 交通空白地における持続可能な移動手段の確保に向け、A I デマンド交通等、デジタル技術を活用した新たなモビリティサービスの導入を加速化することが必要である。
- また、沿線住民の日常生活や地域の経済活動、観光振興などに重要な役割を担っている地方ローカル線の維持・確保に向け、沿線市町等と一層の連携の下、利用促進など路線の活性化に向けた取組が必要である。
- 老朽化や耐用年数を超える交通安全施設について、定期的な保守点検を実施し、計画的に更新する必要がある。
- 安全な道路環境を確保するため、A I 技術を活用した、より効率的な補修計画を策定する必要がある。

#### (参考) 令和 8 年度の主な新規・拡充取組

##### **新** 地域公共交通リ・デザイン推進事業

官民一体となって本県の地域公共交通の目指すべき将来像を検討・共有するとともに、運転士の確保や地域公共交通 DX の促進など、地域公共交通の利便性・生産性・持続可能性向上の取組を推進

##### **拡** 生成 A I 利活用支援強化事業

高度専門人材による生成 A I 活用支援や、スタートアップ企業等と連携した先端事例創出、成果の横展開を通じて、企業等の業務変革を推進

##### **拡** デジタル・ガバメント構築支援強化事業

デジタル・ガバメントの構築を全県的に進めるため、市町に対し Y - B A S E を活用した相談対応やデジタル実装に向けた伴走支援、デジタル専門人材のシェアリングを実施するとともに、生成 AI の利活用に向けたデータ基盤の整備やシステム・ツール等についての調達・利用など市町との共同化を推進